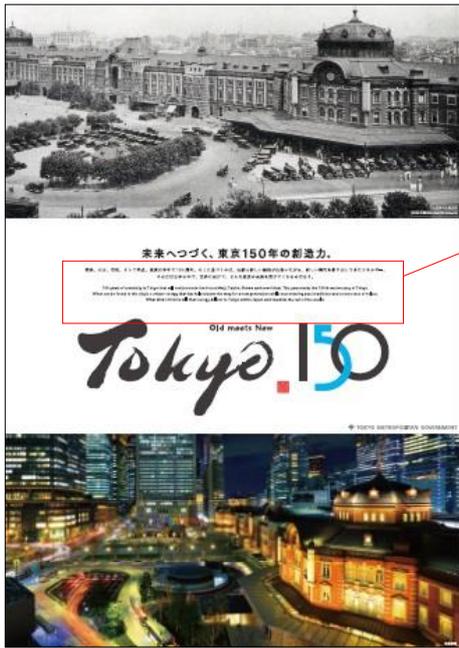


ポスターデザインとコピー



コピー

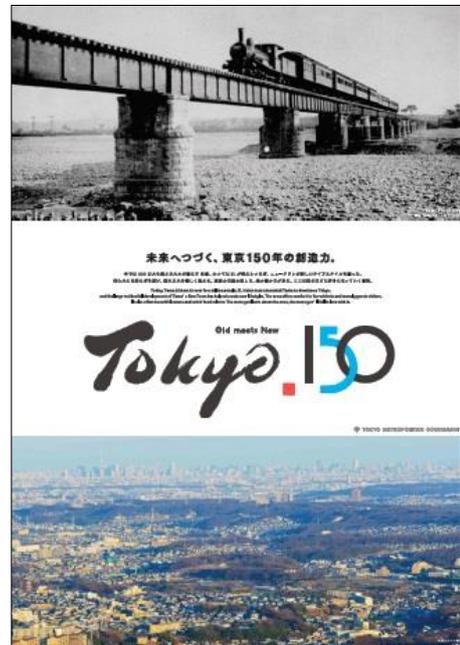


明治、大正、昭和、そして平成。
 東京は今年で150周年。
 そこに息づくのは、
 伝統と新しい価値が会いながら、
 新しい時代を創り出してきたエネルギー
 その力は日本の中で、世界に向けて、
 どんな東京の未来を届けてくれるのだろう。

ここは隅田川、永代橋。東京は江戸の頃から
 水の都。交通と物流の要として、そして人々
 に楽しみと憩いをくれる場所として、いつも
 人々が集まり、活気にあふれていた。未来に
 向けて動き出す東京の水辺、今度はどんな賑
 わいを届けてくれるのか。



明治元年、江戸は東京と改められ、近代都市
 東京が誕生した。そのお祝いとして、「江戸」
 の町民に対して江戸城に滞在中の明治天皇
 から御酒が下された。
 それから150年。街並みや、人々の姿は変わ
 っても、東京の賑わいは変わることがない。



今では400万人を超える人々が暮らす多摩。
 かつてはSLが都心とつなぎ、ニュータウン
 が新しいライフスタイルを創った。
 住む人に安らぎを届け、訪れる人を優しく迎
 える、東京の自然の美しさ、食の豊かさがあ
 る。ここは知るほどに好きになっていく場
 所。



今では東京のシンボルになった渋谷スクランブル交差点。
1日50万人、1回に3000人が渡るといふ。昭和20年代、この場所に空中ケーブルカーがあった。人々が行き交う所から、東京の活力、新しい文化が生まれていく。



銀座は文明開化の街。ガス灯が灯り、路面電車が走った。モガ、モボ、みゆき族、歩行者天国、最先端のファッション、新しい流行はいつもこの街から生まれた。そして、東京の銀座から世界の銀座へ。輝きは未来に向かってさらにきらめく。



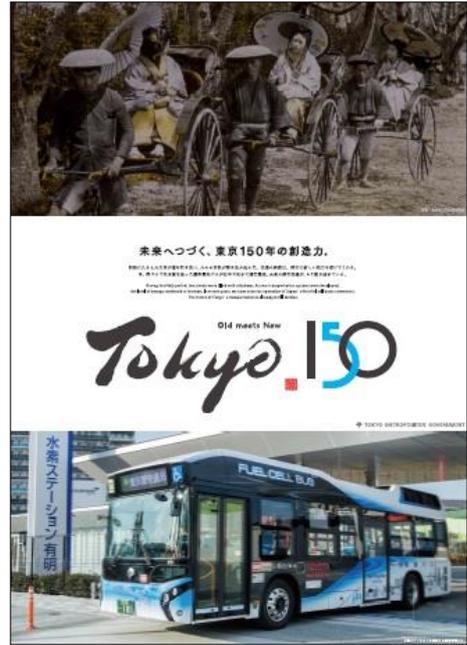
凌雲閣は明治の頃に浅草にあった展望台。日本初のエレベーターが設置された。まさに明治の下町のランドマーク。それから1世紀以上の時を超えて生まれたのが東京スカイツリー。新しい東京のシンボルが、下町の魅力を世界に発信している。



江戸時代から継承されている江戸東京野菜。東京の島々が届ける新鮮な海の幸。東京は食の都。独自の食文化がこの街で生まれ、世界中の料理がこの街で磨かれる。今日も伝統と革新が出会いながら、新しい食の楽しさを創りだしている。



明治に入ると女性たちは和装の中に洋装を取り入れ、新しい装いで街を歩き始めた。いつの時代も、しなやかな発想で自分らしさを表現してきた東京の女性たち。そんな一人ひとりの生き方から、最先端の東京ファッションが生まれていく。



明治に入ると人力車が道を行き交い、人々の活気が街を包み込んだ。交通の発展は、都市に新しい活力を届けてくれる。今、都バスでは水素を使った燃料電池バスが日本で初めて運行開始。未来の都市交通が、もう動き始めている。



400年の歴史が育ててきた江戸の伝統工芸。匠の技は人から人へと引き継がれ、人々の暮らしの中に息づきながら、立ち止まることなく磨かれてきた。そして今、伝統の技が新しい洗練を手にして、世界が認める東京発のブランドへ。